

札幌市の子ども・若者の貧困対策を考える

2018.5.30

話題提供「札幌市子どもの貧困対策計画への期待」

ゲスト：村尾 政樹さん（公益財団法人あすのば 事務局長）

ワークショップ「コーディネーターに期待すること」

進行：松田 考（Youth+センター館長）

～目の前にいる子ども・若者たちのため、議論はつきず～

本年3月に、札幌市では「子どもの貧困対策計画」が策定され、新たにコーディネーターを配置するモデル事業の実施が検討されています。子ども・若者のSOSを発見し、成長を見守りながら、必要なときに寄り添い、適切なサポートに繋げていくために、現場からコーディネーターに期待する役割を考えるセミナーを実施しました。

話題提供では、子ども貧困対策や自殺対策に取り組む村尾政樹さん（公益財団法人あすのば事務局長）をゲストにお迎えし、子どもの貧困の現状から全国の貧困対策計画の先進的取り組み、札幌の計画へ期待することなどについてお話いただきました。

後半のワークショップでは、参加いただいた60名の支援者・実践者の方々が小グループに分かれて、コーディネーターに期待することを語りあいました。子どもたちを見守る大人たちがいるなか、「困りごと」が出てきたときに寄り添うパートナーがスムーズに機能するためには、どういった機能が必要か、どんな人が必要か・・・常日頃接している子ども・若者たちのために議論は尽きず、時間が足りないほどでした。

来月も「子ども・若者の貧困対策」をテーマとしたセミナーを開催する予定です。今後も皆さまと一緒にこの問題を考えていけたらと思っております。

（文責：Youth+センター 松本）